

母乳 ストリー



四月上旬、一七三二歳の小さな男の赤ちゃんが昭和
大江東豊洲病院（東京都江
東区）で誕生した。母親
（三七）は妊婦健診で羊水が少
ない異常が見つかり、予定
より一カ月半も早く帝王切
開で出産した。

赤ちゃんは新生児集中治
療室（NICU）に入り、
母親は母乳を届けようと搾
乳器で乳を搾ったが出なか
った。体に母乳を作る準備
ができていなかったから
だ。

すぐに小児内科の水野克
己教授（五三）から院内にある
「母乳バンク」について説
明を受けた。母乳が出なか
ったり病気であげられなか
ったりする母親に代わり、
提供者の女性「ドナー」の
母乳を低温殺菌処理して飲
ませる取り組み。母親は提
供を依頼し、鼻からチュウ

プを通して少量ずつ二日八
回、赤ちゃんに与えてもら
った。

生後三日目、母親に母乳
が出始め、赤ちゃんに与え
られるように。退院前の五
月上旬、今度は自分が搾っ
て余った母乳をバンクに提
供した。「小さく産んだ上
に、母乳が出なくて子ども
に申し訳なかった。母乳を
譲ってもらい本当にありが

たかったので、恩返しした
かった」と涙ぐむ。

母乳バンクは昨年七月、
低温殺菌と冷凍保存設備を
備えた施設として、水野教
授が国内で初めて設立し
長三カ月で、必要とする赤

染症で問題がないことを確
認する。譲り受けた母乳
は、低温殺菌処理をしてか
ら病原菌がないことを確
かめて冷凍保存。保存は最
長三カ月で、必要とする赤

安全な「バンク」のお乳



早産児には命綱に

た。早産児の病気予防が一
番の目的で、これまで七人
の赤ちゃんにドナーの母乳
を与えてきた。「免疫成分
が多い母乳は、早産児にと
って薬のようなもの」と水
野教授。母乳は粉ミルクに
比べて消化がよく、腸の粘
膜を保護する機能もある。
腸への血流が滞り細菌に感
染することにかかる病気を
「壊死性腸炎」を防ぐ効果
が期待できる。

予定より早く生まれ、バン
クのお乳をもらった男の
子。体重は3200gまで
増えた（東京都江東区で

NICUがある岐阜県総
合医療センター（岐阜市）
も早産児への母乳育児を推
進。新生児内科部長・河野
芳功さん（五三）は「小さく生
まれた赤ちゃんほど、免疫
成分が多い母乳は命綱にな
る」と話す。出産直後から
母親に母乳を搾ってもらう
が、与えられない母親もお
り、国内メーカーが開発中
の装置が製品化されればド
ナーの母乳を低温殺菌処理
して与える体制を整えたい
という。

ネット上には、母乳の販
売をうたう業者の書き込み
もある。「自己判断でもら
い乳を利用するのはリスク
が高く、絶対にやめてほし
い」と水野教授は訴える。

母乳育児が推奨されてい
る。でも赤ちゃんにあげた
くてもあげられないと、悩
んでいる人も多い。母親た
ちの思いと、育児を応援す
る取り組みを随時紹介す
る。（細川睦子）